

製材の日本農林規格の一部を改正する件(令和元年 8 月 15 日付け農林水産省告示第 661 号)が告示されたことに伴い下記のように変更する旨を承認お願い致します。

京都木材規格基準 新旧対照表

| 改正後 | 現 行 |
|---|---|
| <p>2 構造用製材</p> <p>2-1 定義</p> <p>製材のうち、<u>針葉樹を材料とする人工乾燥処理を施したものであって、建築物の構造耐力上主要な部分に使用することを主な目的とするものをいう。</u></p> <p>2-2 含水率</p> <p>製材の日本農林規格（機械等級区分構造用製材）の含水率基準に準じて、含水率区分を表示する。</p> <p>下表の左欄に掲げる区分ごとに、それぞれ同表の右欄に掲げる数値以下であること。</p> <p>(2) 削除</p> | <p>2 構造用製材</p> <p>2-1 定義</p> <p>製材のうち、<u>針葉樹を材料とするものであって、建築物の構造耐力上主要な部分に使用することを主な目的とするものをいう。</u></p> <p>2-2 含水率</p> <p>製材の日本農林規格（機械等級区分構造用製材）の含水率基準に準じて、含水率区分を表示する。</p> <p><u>(1) 人工乾燥処理を施したものの含水率の基準</u></p> <p><u>人工乾燥処理を施した旨の表示をするもの</u>にあっては、<u>下表の左欄に掲げる区分ごとに、それぞれ同表の右欄に掲げる数値以下であること。</u></p> <p>(2) 天然乾燥処理を施したものの含水率の基準</p> <p>天然乾燥処理を施した旨の表示をするものにあっては、含水率が 30% 以下であること。</p> |

2-3 寸法

単位 mm

| 区分 | | | 表示された寸法と測定した寸法との差 | | |
|--------------|-------|---------|-------------------|------------------|------|
| 木口の短辺及び木口の長辺 | 仕上げ材 | 人工乾燥の表示 | 木口の短辺及び木口の長辺 | | |
| | | SD15 | 75未満 | +1.5 | -0.5 |
| 木口の短辺及び木口の長辺 | 仕上げ材 | SD15 | 75以上 | +2.0 | -0.5 |
| | | | SD20 | 75未満 | +1.5 |
| | | SD20 | | 75以上 | +2.0 |
| | | | 未仕上げ材 | D15, D20, 及び D25 | 75未満 |
| | 75以上 | +2.0 | | | -0 |
| | 105未満 | +5.0 | | | -0 |
| 材長 | 仕上げ材 | | | +制限なし | -1.0 |
| | 未仕上げ材 | | | +制限なし | -0 |

2-5 その他

2-1 から 2-4 に定めのない構造用製材に関しては、日本農林規格の基準に準ずる。ただしその場合においても、全数検査は実施するものとする。

2-3 寸法

(単位: mm)

| 区分 | | | 必要な寸法と測定した寸法との差 | | |
|--------------|-----------------|---------------|-----------------|-------|----|
| 木口の短辺及び木口の長辺 | 人工乾燥処理を施したもの | 仕上げ材 | 75未満 | +1.5 | -0 |
| | | | 75以上 | +2.0 | -0 |
| | | 未仕上げ材 | 75未満 | +1.5 | -0 |
| | | | 75以上 105未満 | +2.0 | -0 |
| | 105以上 | | +5.0 | | |
| | 人工乾燥処理を施していないもの | 75未満 | +2.0 | -0 | |
| | | 75以上 105未満 | +3.0 | -0 | |
| | | 105以上 | +5.0 | -0 | |
| | 材長 | | | +制限なし | -0 |

(新規)